



「チカラがつく」
Point 2

情報を読み解く力と、伝える力が身につく。

✓ 史料を読み解き論理的に思考する力

史学の研究は、史料を収集し、それらから史実を読み解いていく学問です。主観的な推測の積み重ねではなく、根拠に基づいた説得力のある議論を展開するための、論理的な思考が求められます。そのための力を、2年次には「基礎演習」、3・4年次には「演習」の科目を履修して身につけていきます。



✓ 自分の考えを相手に的確に伝える力

「演習」の科目では、ひとつのテーマについて必要な史料収集を行い、研究書等の文献を読みながら調査を進め、その内容を受講生の前で発表する機会が与えられます。自分の考えをわかりやすく伝え、理解してもらうために、配布する資料・発表方法や手段を工夫する力が鍛えられ、社会人としてはもちろん、人生のあらゆる場面で必要となる「プレゼンテーション能力」を身につけることができます。



カリキュラム

卒業基準単位数: **124** 教養的科目: **22** 専門科目: **102**

※2024年4月1日入学者の場合。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	歴史学の考え方、基礎を修得する 歴史を研究する際の視点や考え方はじめ、辞典・辞書類の利用法、史料の収集法等を修得します。	4つの領域から専門を決定する 選択した専攻分野の「基礎演習」を履修し、専門的な研究方法と史料の解読法を学修します。	演習をととして論文作成力を修得 卒業論文を念頭におきながら、史料や専門的な論文を読み、演習で論文作成に必要なスキルを磨きます。	学修の総括である卒業論文を完成 研究の最終テーマを決め、卒業論文を作成。後半は個別指導の下、論文の完成をめざします。
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 学修の基礎 1 基礎英語 1・2 基礎ゼミナール コンピュータ情報処理の基礎 			<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 日本史料講読 1・2・3・4 東洋史料講読 1・2 西洋史料講読 1・2 考古史料講読 1・2 日本史研究法 東洋史研究法 西洋史研究法 考古学研究法 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史基礎演習 1・2 東洋史基礎演習 1・2 西洋史基礎演習 1・2 考古学基礎演習 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史演習 1・2 東洋史演習 1・2 西洋史演習 1・2 考古学演習 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史演習 3・4 東洋史演習 3・4 西洋史演習 3・4 考古学演習 3・4
	<ul style="list-style-type: none"> 日本史概説 1・2・3・4 東洋史概説 1・2・3・4 西洋史概説 1・2・3・4 考古学概説 1・2・3・4 			
選択科目		<ul style="list-style-type: none"> 日本史特講 1～20 東洋史特講 1～16 西洋史特講 1～16 考古学特講 1～16 近代日本社会・経済史 ヨーロッパ社会・経済史 	<ul style="list-style-type: none"> 日本思想・宗教史 アジア思想・宗教史 古文書学 1・2 歴史地理学 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 日本史料研究 1・2 東洋史料研究 1・2 西洋史料研究 1・2 考古資料研究 1・2
		<ul style="list-style-type: none"> 考古学実習 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学実習 3・4・5 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学実習 6
			<ul style="list-style-type: none"> 古文書学実習 1・2・3・4 民俗学 1・2 美術史 1・2 	

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。